

# IGF Ethiopia 2022 参加記

登山 昌恵

JPCERT/CC 国際部

2023/02/09



# IGF Ethiopia 参加者データと印象

- 4,051名の登録に対し、2,528名が現地参加
- アフリカ大陸の参加者が50%越え、AP地域は15%
- 現地の印象
  - ビッグテックはほぼ不在？ CERT関係者も少なかった
  - ゼロコロナ渡航制限下、中国人はほぼいなかったか
  - ブラジル人が人数と結束感で、ロシア人が発言の注目度で目立っていた

# 注目セッション

# 注目セッション1

## ■ Global Digital Compact

- グテーレス国連事務総長報告「The Common Agenda」(21年9月)の「12の提案」に含まれるコンセプト
- 3月31日までパブコメ実施。2024年9月の総会での採択を目指す
- Yu Ping Chan, the Office of the Secretary-General's Envoy on Technology
- ウガンダ、ブルキナファソで試験的なワークショップを実施
  - 国単位の取り組みを推進



<https://www.un.org/techenvoy/global-digital-compact>

# Global Digital Compact

## 7. デジタル分野の協力改善

グローバル・デジタル・コンパクトにより：

- 学校を含め、すべての人々をインターネットにつなぐ
- インターネットの断片化を回避する
- データを保護する
- オンラインで人権を適用する
- 差別や誤解を招くコンテンツに対する説明責任基準を導入
- 人工知能（AI）の規制を強化
- グローバルな公共財としてのデジタルコモンズ

### 12のコミットメントの大切な提案

国連創設75周年に寄せられた宣言より

行動案はすべて持続可能な開発目標（SDGs）に沿い、その目標達成を加速するために策定されています。

#### 1. 誰一人取り残さない

- 人権と強く結びついた新たな社会契約
- 医療、ベーシックインカム、保護されるべき普遍的な社会的保護が、保護されない40億人に届く新時代
- 適切な住居、教育、生涯学習、ディーセント・ワークの強化
- デジタル分野での包摂性
- 世界社会サミット
- GDPへの補完的指標の特定

#### 2. 私たちの地球を守る

- グローバル・ストックテイク（2023年実施予定）に先立つリーダーズ会合
- 1.5℃目標および2050年までに排出量正増ゼロを達成することにコミットする
- 気候緊急事態宣言および健全な環境を享受する権利
- 開発途上国への支援パッケージ
- 適応およびレジリエンス（強靭性）に向けた対策
- 2021年以降の石炭火力発電所の新設禁止および化石燃料への補助金の段階的廃止
- 経済モデル、炭素価格メカニズム、および金融関係者による信頼できるコミットメントにおいて、環境に配慮する
- 2020年から先の生物多様性フレームワーク
- 持続可能性、栄養、公平性のための資料システムの改革
- 気候変動のもたらす各領域への脅威、および環境に起因する強制移住の事態を防止、保護、解決するための国連総会による行動

#### 3. 平和を促進し紛争を予防する

- 新たな平和への課題により：
  - 戦略的リスク（核兵器、サイバー戦争、自律型兵器）を軽減する
  - 国際的な先見性を強化する
  - あらゆる形態の暴力への対応を再構築する
  - 平和構築基金や平和構築委員会を含め、予防と平和構築に投資する
  - 地域予防を支援する
  - 女性と女児を安全保障政策の中核に据える
- マルチステークホルダーによる宇宙空間に関する対話を含め、平和で安全、かつ持続可能な宇宙空間の利用

#### 4. 国際法を遵守し公正を確保する

- 包括的な差別禁止法、参加促進などを含め、問題解決手段としての人権
- オンラインや最先端の課題、新たなテクノロジーでの人権の適用
- 人権としてのインターネットへの普遍的アクセス
- より持続可能な財政基盤を備えた人権メカニズム
- すべての人のための法的なアイデンティティの確保、無国籍状態の解消および国内避難民、難民、移民の保護
- 法の支配に対する新たなビジョン
- 国際法の発展、およびその効果的な施行のためのグローバル・ロードマップ

#### 5. 女性と女児を中核に据える

- ジェンダー差別的な法律を撤廃する
- クォータ制や特別措置の実施を含め、ジェンダー・パリティー（男女比率）を推進する
- ケア・エコノミー分野への投資や女性起業家への支援を含め、女性の経済的包摂を推進する
- 若い女性たちの声を取り入れる
- 緊急対応計画の実施を含め、女性と女児に対する暴力を根絶する

#### 6. 信頼関係を築く

- 情報公開の誠実性を促進するグローバルな行動規範
- 公的機関や基本サービスの質を向上させる
- 国家による包括的な積極的実施と「未来を描く」活動の実施
- 国連腐敗防止条約に沿った腐敗対策行動
- 国際税制の改革
- 財務の健全性と不正な資金の流れに対する取り組みにおける共同体制

資料提供元：国連の共同発表

### 重要な時期の提案



#### 7. デジタル分野での協力を改善する

- グローバル・デジタル・コンパクトにより：
  - すべての学校を含め、すべての人々をインターネットにつなぐ
  - インターネットの断片化を回避する
  - データを保護する
  - オンラインで人権を適用する
  - 差別や誤解を招くコンテンツに対する説明責任基準を導入する
  - 人工知能(AI)の規制を強化する
  - グローバルな公共財としてのデジタルコモンズ

#### 8. 国連をアップグレードする

- 先国家元首・政府首脳が率いるハイレベル国際委員会による、グローバルな公共財のガバナンスの改善
- 年齢、ジェンダー、多様性に配慮しながら人々を中心に据えたシステム構築の政策
- 国連創設75周年に寄せられた宣言および「私たちの共通の課題」に基づき、デジタルを含め更なる模範、参加、協働
- 国連システム内でのジェンダー・パリティー（男女比率）を2028年までに実現する
- 事務総長科学諮問委員会を再設置する
- イノベーション、データ、戦略的先進性、結果重視、行動科学を含め、国連2.0に向けた「変革の五要素」

#### 9. 持続可能な資金調達を実現する

- 国連開発計画（UNDP）の再活性化を含め、より公平でよりレジリエントな多国間貿易システムを構築する
- 新たなビジネスモデル
- 国連の予算編成を改善する

#### 10. パートナシップを強化する

- 国連とすべての地域機関の長による年次会合
- 国連システム、国際金融機関、地域開発銀行の連携を強化する
- 議会、地方当局、民間セクターとのより体系的な連携
- すべての国連機関において市民社会担当者を設ける
- オンラインへのアクセス可能性を含め、アクセスと包摂を統合するための国連パートナーシップ事務所

#### 11. 若者の声を聞き共に取り組む

- 若者
  - 政策決定への参加の障壁を取り除き、「政治における若者」インデックスで進捗を測る
  - 国連ニュース・オフィス
  - 教育変革サミット（2022年）の開催
  - 若者のキャリアパスおよび、若者のための労働市場の成果を測るための復興パロメーター
  - グリーン経済とデジタル経済の雇用創出を促進する、高い野心を持った計画
- 将来世代
  - 未来のサミット（2023年）の開催
  - 国連フォーチャーズ・ラボによるものを含め、長期的思考を確保する
  - 信託統治理事会の再活用、将来世代に関する宣言、将来世代のための国連特使などを通じて後継世代を代表する

#### 12. 備える

- 複合化したグローバル危機に対応するため提案される緊急プラットフォーム
- 国連による5年ごとの戦略的先見性とグローバルリスク報告書
- グローバルな公衆衛生に関して：
  - グローバルなワクチン供給計画
  - 世界保健機関（WHO）の強化
  - より強固なグローバルな健康安全保障とより良い備え
  - 低・中所得国における製品開発と健康技術へのアクセスを加速化する
  - ユニバーサルヘルズ・カバレッジ（UHC）および健康決定要因への取り組み

資料提供元：国連の共同発表

[https://www.unic.or.jp/files/Our\\_Common\\_Agenda\\_KEY-PROPOSALS-ACROSS-THE-12-COMMITMENTS\\_J\\_FINAL.pdf](https://www.unic.or.jp/files/Our_Common_Agenda_KEY-PROPOSALS-ACROSS-THE-12-COMMITMENTS_J_FINAL.pdf)

# 注目セッション2

## ■ African Union Open Forum

- 54か国中、33の国でインターネットに接続できるように。いまだ8.71億人はつながっていない
- ウクライナ危機とコロナで貧困が加速化し、デジタル格差も増大した
- 2023年初頭にDigital Compact を解説するイベントを開催し、2024年にAUから国連へ提言することを目指す
- African sovereign cybersecurity の訴えに、拍手が起こるも、AUやパネリストは複雑な表情



# IGFという箱について

# 議論の場としてのIGF

- 技術的にできる/できないの議論 <聞こえがいい進行
  - 仮説：パネリストの交流がない or 減ったから
  - 仮説：民間事業者の登壇が少ないから
  - 「キャパシティビルディングはとりあえず必要」
  - 成果発表会のようなセッションも
  - 人権活動家とテックカンパニーの議論が見れなかった
  - YouthがYouthじゃない問題
- 開催国や地域が要因ではなく、IGFの大規模化や参加者属性の変化が議論の進展を難しくさせている？



# イベントとしてのIGF

## ■ 豊富な文化体験

- 物販
- ボランティアとの交流
- おみやげ（250gのコーヒー豆）



## ■ 人の移動とネットワークアクセス

- 事前の全体案内が不足
  - ホテル間送迎バス（実際はピストン運行のタクシー）
  - ソーシャル会場までバス&徒歩で約20分。帰路に不安
- Wifi環境



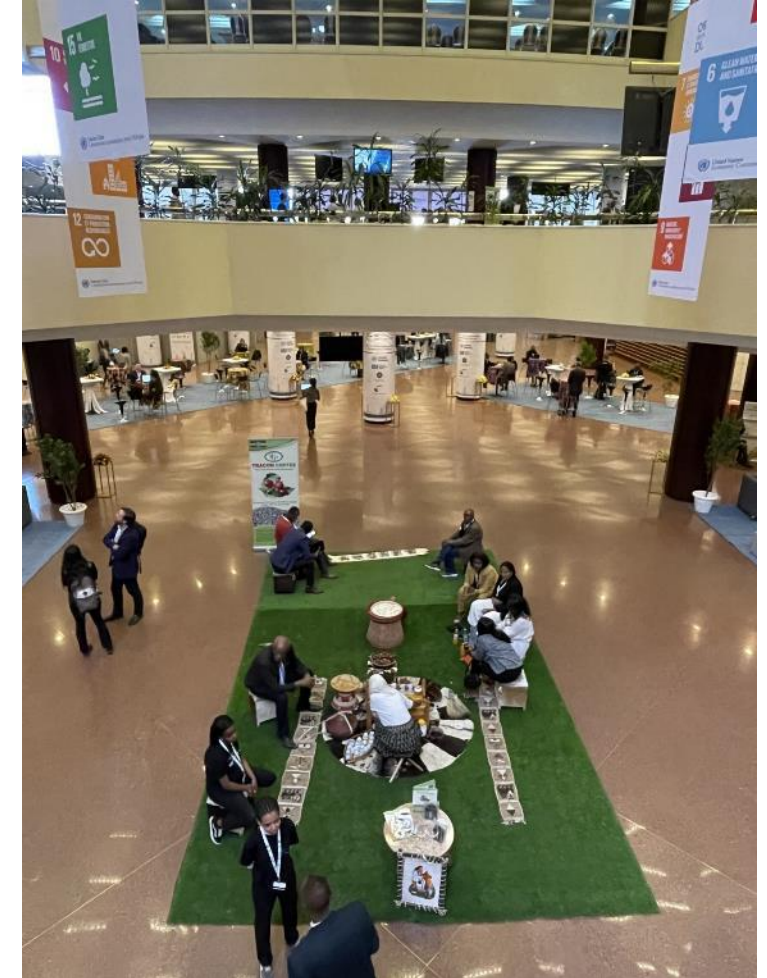
## ■ IGF京都への期待が高まった

# IGF Ethiopiaの様子

# カンファレンスルーム



# アミューズメント



# 食事

